

一般社団法人 大曲青年会議所 2018年度

青少年育成委員会 事業計画（案）

BLEU

青少年育成委員会

委員長 内田清文

インターネットの普及により、私達は欲しい情報を容易に手に入れることができるようになりました。同時に、SNSによって自分に近い人間との自慰的で緊密なコミュニケーションを取っています。これは、心理的な安定のために自分に肯定的なものだけを取り入れ、否定的なものや未知なるものを過剰に排し、自己を肥大させているに過ぎません。大仙郷の未来ある子供達は他者と接する機会を増やし、自己の世界を広げる必要があります。

まずは、日常から一歩外に飛び出し、別の視点から世界を垣間見ることができるようするために、大仙郷の枠を超えた様々な職業体験を通して個々の仕事への気づきや理解を深め、それに従事する人の視点を体験します。そして、親や友達ではない全き他者と出会い、異なる考えを受容するためのベースを作るために、初めて出会う人とでも親しみやすい、スポーツを通じた青少年育成事業を支援することで、子供達は異なる地域の子供達と対面での交流を図ることができ、様々なタイプの間があることを理解します。さらに、一般的に自己肯定感が低いとされる学生の本音を引き出し、視野を広げるために、友達でも親や先生でもないナナメの関係であり、世代や価値観、経験の違う大人達とコミュニケーションを図ることで、双方の理解を深め社会的立場を再認識し互いの理解を深めます。また、国際交流を通じて異文化理解のきっかけを掴むために、NEXT大仙郷VISIONにおいて2年目の事業に掲げられている、中和国際青年商會とのスポーツによる国際交流事業の開催に協力することで、大仙郷の子供達は言葉の壁を超えた異文化交流をします。

新しさの源泉として存在する子供達は、他者との出会いを通じて世界を拡大していく中で得た原理原則を保持しつつ、社会に惑わされずに純粹かつ青々とした姿勢で、私達世代とともにこれからの未来を切り開き、夢と希望に満ち溢れる豊かな大仙郷を築き上げます。

【基本方針】

地域の子供達の心身の健全な育成と国際交流にて国際意識を育み、大仙郷の未来の担い手の育成を図る。

1. 青少年育成事業の企画・実施
2. わんぱく相撲秋田ブロック場所及び全国大会への支援・協力
3. その他青少年育成・スポーツによる青少年育成に関する事項
4. 会員拡大に関する事項
5. J C説明会の会場設営に関する事項